2007年度 日本語教育学会春季大会

主催：社団法人 日本語教育学会
開催日：2007年3月26日（土）、27日（日）／会場：桜美林大学 東京都町田市鶴岡町 3758
参加費（予定期間）：会員 4,000 円 一般 5,000 円／懇親会費 3,000 円
参加申込：大会当日受付でお申し付け下さい／連絡先：090-1999-3315（当日のみ）

【第1日】5月26日（土） 太平館

<table>
<thead>
<tr>
<th>10:00～11:30</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>理事会・評議員会</td>
</tr>
<tr>
<td>3階 A303</td>
</tr>
</tbody>
</table>

<table>
<thead>
<tr>
<th>11:00～12:30</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>通常総会</td>
</tr>
<tr>
<td>3階 A303</td>
</tr>
</tbody>
</table>

<table>
<thead>
<tr>
<th>13:00～14:05</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>開会式・表彰式</td>
</tr>
<tr>
<td>2階 A300(メイン)、A201・A202(サブ)</td>
</tr>
</tbody>
</table>
| 司会 川口 遷一（大会委員長）
| 合計挨拶 杉戸 智樹（日本語教育学会会長） |
| 開催校挨拶 佐藤東洋士氏（桜美林大学学長） |

<table>
<thead>
<tr>
<th>14:15～17:30</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>シンポジウム</td>
</tr>
<tr>
<td>2階 A300(メイン)、A201・A302(サブ)</td>
</tr>
</tbody>
</table>

聴解教育の方法と可能性

知識があっても聞けない学習者はどうしたら良い？未習語の事前指導の程度は？ディクテーションのやり方は？等々、聴解教育に悩む教師は多いと思われます。本シンポジウムでは、効果的な聴解を元に、「推測」「予測」「視覚」、「記憶」という4つのキーワードから、より良い方法を確立するための提案を行います。

小林氏は、聞き分ける力が学習者がどう「推測」するかを、SPOT 開発の理論的背景を踏まえて説明します。石黒氏は、講演発表データを元に、未習語者を対象に、予測能力の習得を効果的に説明します。松見氏は、聴解を支える「記憶」心理学的分析し、聴解練習法としてのシャドーティングを紹介します。

発表では会場参加型の簡単な実験を数多く取り入れて「聞く」行為を再認識してもらい、聴解のメカニズムを明確にしているとされています。

＜企画・運営担当 大会委員＞ 田中真理、松崎亮、山内博之

司会：松崎亮（広島大学）

第1部 聴解のメカニズム

推測…………小林典子氏……推測力の向上のための教室活用
一講演から部を、部から全体を→（筑波大学）

予測…………石黒圭氏……予測力を高めるための教室活用
一予測を意識した予測指導のために→（一橋大学）

識別…………小河原義朗氏……識別力の向上のための教室活用
一学生の思考過程を視覚化する→（北海道大学）

記憶…………松見利男氏……記憶力を高めるための教室活用
一聴解の「今」を支える心理的認知→（広島大学）

懇親会 崇徳館 1階桜カフェ 18:00～19:30

【第2日】5月27日（日） 明々館

<table>
<thead>
<tr>
<th>10:20～16:15</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>口頭発表  明々館 3階 A307～A309, 4階 A406～A407</td>
</tr>
</tbody>
</table>

<table>
<thead>
<tr>
<th>10:00～12:30, 13:40～15:40</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>ポスター発表 明々館 5階 A506</td>
</tr>
</tbody>
</table>

<table>
<thead>
<tr>
<th>10:00～14:00, 14:00～16:00</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>バーチャルセッション 明々館 4階 A406, 5階 A510</td>
</tr>
</tbody>
</table>

<table>
<thead>
<tr>
<th>13:40～15:40</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>デモスレーショント 明々館 5階 A507</td>
</tr>
</tbody>
</table>

<table>
<thead>
<tr>
<th>13:00～13:30</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>日本語能力試験改定申込会場 明々館 4階 A408</td>
</tr>
</tbody>
</table>
【口頭発表】

《第1会場》明々館 3階 A307

① 10:20～10:50 香港における上級日本語学習者の複合動詞の習得及び使用実態調査
何志明（香港中文大学）
② 10:55～11:25 視点表現としての「～ている」の使用状況
前原義（法政大学）、松下雅彦（桐蔭学園大学）
③ 11:30～12:00 中上級日本語学習者による形容語彙の産出
黒崎亜美（セキセイ・日中教育研究室）、松下通彦（桐蔭学園大学）
④ 13:40～14:10 意味的に対応する和語と漢語の使い分けについて
前原義（法政大学）、松下通彦（桐蔭学園大学）
⑤ 14:15～14:45 新聞の社説を対象とした日本語文型の使用頻度調査研究
藤原明（山形大学文学部特別科教講）
⑥ 15:10～15:40 上級日本語学習者のコロケーションに関する誤用
前原義（法政大学）
⑦ 15:45～16:15 中国人日本語学習者の「のだ」、「のか」の習得状況
藤原明（山形大学文学部）

《第2会場》明々館 3階 A308

① 10:20～10:50 日本語教育における線約形と拡張形
增田裕子（ジョージア工科大学）
② 10:55～11:25 心地よいと思われる「ほめ」の表現
金庚芬（東京大学）
③ 11:30～12:00 オノマトペに対するツリーフ
日本語教師と学習者の比較
ツリーフ（筑波大学文学部）
④ 13:40～14:10 留学生の講義理解を阻害する問題点
アラン・オーガスト（筑波大学）
⑤ 14:15～14:45 音声提示された正順・かき混ぜ順言語の単文理解が長文の聴解に及ぼす影響
玉田光邦（広島大学）、宮崎司（広島教育大学）、邱學讓（台湾台中技術学院）
⑥ 15:10～15:40 英語を母語とする中-上級日本語学習者の漢字言葉の認知について
藤原明（山形大学文学部）
⑦ 15:45～16:15 腦波で検証するピッチパタンの無意識「習意」について
藤原明（山形大学文学部）

《第3会場》明々館 3階 A309

① 10:20～10:50 上級日本語を能動的に楽しく学ぶ
藤原明（山形大学文学部）
② 10:55～11:25  授業における日本人協力者の活用
  ～学習支援の内容と教師の役割～
  鈴木理子（筑波大学）

③ 11:30～12:00  口頭ナルティビティの指導方法および学習成果に関する考察
  高橋幸苗（YAMASA言語文化研究所）

④ 13:40～14:10  自律学習を基盤とした個別対応型日本語授業に対する学習者の態度
  藤田裕子（筑波大学）

⑤ 14:15～14:45  協働的な学習を可能にする教室環境の改善
  ～日本語学級クラスへの対立消解プログラムの導入とその効果～
  吉本 純子（文化外国語専門学校）

⑥ 15:10～15:40  大学院進学希望者のための「論理的思考法を学ぶ授業」の試み
  足立尚子（日本学生支援機構）

⑦ 15:45～16:15  日本語学習者に関する参加型学習
  ～その手法と理念～
  村（白川）和子（大阪外国語大学）

《第4会場》 明ら館 4階 A408

① 10:20～10:50  日本語学習者の作文過程
  ～学習段階と分析的評価の観点から～
  石毛順子（東京外国語大学大学院生）

② 10:55～11:25  自己についての「語り」を中心とした日本語教室活動における言語学習の特質
  ～教室会話分析を通して見た学習者の活動参加の様相～
  安根橋伸子（広島大学大学院生）

③ 11:30～12:00  学習者と教師による活用技能の関連性分析
  高原 博子（アイオワ大学大学院生）

④ 13:40～14:10  接触場面における学習者の「スピーチスタイル」に関する気づき
  ウォーカー泉（早稲田大学大学院生）

⑤ 14:15～14:45  海外の日本語相手言語交流場面におけるインターアクション管理
  ～日本語相手の管理プロセスの特徴と日本語教育への有用性～
  奥見康弘英（ニューヴェルス大学）

⑥ 15:10～15:40  日本語フレーズメントテストにおけるディフ研究
  法井たか子（筑波大学）、上松義（東京外国語大学）、花見かおり（東京医科歯科大学）、伊藤文男（東京外国語大学）、三枝理子（一橋大学）、島田めぐみ（東京学芸大学）、遠藤（国立情報学研究所）、田口裕之（名古屋大学）

⑦ 15:45～16:15  日本留学試験の記述問題について
  ～教育現場からの「評価」の妥当性を問い直す～
  高嶋健伸（関西女子大学）

《第5会場》 明ら館 4階 A407

① 10:20～10:50  低標点を指針とした協働型アクション・リサーチによる新任教師の成長の可能性
  高宮優花（パデューア大学大学院生）

② 10:55～11:25  日本語教師の長時間と自己意識・社会経験との関連性について
  丸川順治（同志社大学大学院生）

③ 11:30～12:00  海外で活動する日本人日本語教師に望まれる資質の構造化
  ～これからの日本語教師育成に向けて～
  平田奈美（中国地域振興センター）

——3——
④ 13:40〜14:10 日本語を第二言語とする児童生徒の学習言語能力と言語能力の関係を探る
長谷川朋美(横浜国立大学)

⑤ 14:15〜14:45 バイリンガル・フリースクールにおける日本語教育の事例
富永和歌(ハワイ大学マノア校大学院生)

⑥ 15:10〜15:40 談話からみる地域日本語活動の様相
新庄あいみ(大阪大学大学院生)

⑦ 15:45〜16:15 在日日系ブラジル人2女性の言語生活
日本語習得から
池田亜季子(早稲田大学大学院生)

【ポスター発表】

○ 理系留学生のための中級日本語教材の開発
ークリティカルリーディング能力養成を目指してー
藤井裕子(日本学生支援機構), 大澤宣子(同), 増谷祐美(同)

○ 専門分野の日本語学習辞典の設計
ー『留学生のための二語学習者必読辞典』の場合
根井正生(鹿児島日本語学校), 中川隆司(早稲田大学), 増田光司(東京医科歯科大学)

○ 授業中のグループ作業に見られる話題展開
ー日本大学生の場合ー
小笠恵美子(東海大学)

○ 読解前の質問の種類と読解時間が日本語学習者の文章理解に及ぼす影響
吉本裕美(広島大学大学院生)

○ 専門科目と日本語教育をつなぐ授業活動の試み
福島智子(早稲田大学), 今井美里生(同), 坂巻延子(同)

○ 言語習得と流動的文学学習の統合教育
ープロダクトを使った文化学習の試みー
松本一義(ハデュ大学大学院生)

○ 初級レベルでの日本人学生との自由会話用補助教材『留学生と日本人学生のための会話素材集―Let's get to know each other better!』の開発
松本久美子(広島大学)

○ 定住外国人の名詞使用
ー自然言語処理分析ツールを用いた研究事例ー
佐野香織(大阪女子大学大学院生)

● 文法・文型操作の学習を目的としたトピックシラバスのデザイン
品田潤子(國際日本語普及協会)

● 日本語シャドーイングの認知メカニズムに関する基礎的検討(2)
ー記憶容量の大小および有意味語文と無意味語文の比較からー
倉田久美子(広島大学大学院生), 松見浩男(広島大学大学院)

● 初級段階から始める「複雑な文構造」に対する読解力の養成
ー連続修飾生存題材にー
増田真理子(東京大学), 大関茂夫(同), 前原かおる(同)

● グループプレッセで行うシャドーイング
ー実践報告ー
菅野由志(カイ日本語スクール), 深澤有生(同), 中村雅子(同)
外からの情報を自分の文章にどう組み込んでいくか
アカデミック・ライティングにおける引用の学習
二通信子（東京大学）

チュートリアル的進学活動の紹介とその成果
日本語学習教育における進学指導の実践報告
倉持益子（東海大学大学院）

大学初年次における留学生のアカデミック・ライティングの教材開発と実践の試み
植田和美（福岡大学），今井優里里，守谷真美（お茶の水女子大学），久保田美絵（福岡大学）

就学期外国籍児童に対する日本語学習指導教材開発のための語彙調査
安藤雅子（山梨県立大学）

【パネルセッション】
《会場》 明々館 4階 A408

① 10:00～12:00 授業における映像メディア（ドラマ・アニメ等）の活用
長谷川恒雄（言語文化研究所），土井英雄（国際交流基金），
保坂敏子（日本大学）

② 14:00～16:00 日本における言語マイノリティ問題と日本語教育
木村哲也（千葉大学），山田泉（早稲田大学），村田淳（ちいこな多文化教育），
リリアン・デルミ・ハタノ（甲南女子大学），尾崎明人（名古屋外国語大学）

【デモンストレーション】
《会場》 明々館 5階 A507 13:40～15:40

○ イメージと漢字をレイヤした初級漢字導入教材の開発
江崎哲也（山梨大学）

○ 「用例付学習語彙5000語対訳スペイン語（試用版）」NPO 中学・高校生の日本語学習を考える会編
植口万喜子（神奈川県立神奈川総合高等専門学校）

【日本語能力試験改訂に関する中間報告会】
《会場》 明々館 4階 A408 13:00～13:30
国際交流基金，日本国際教育支援協会
大会期間中の食堂とコンビニエンスストア営業のご案内
崇仁館1階の桜カフェ（食堂）と清友館1階のam pm（コンビニエンスストア）が、上記の時間帯で営業しています。会場周辺の食堂には限りがありますので、昼食はこれらの施設をご利用いただくか、各自ご用意ください。

会場への交通案内——桜美林大学

※会場へ向かうには、
渋野辺駅（JR横浜線）
で降るルートと、
町田駅（JR横浜線、
小田急線）で降る
ルートの2種類
があります。
◇淵野辺ルート

淵野辺までの経路…

〇新宿から 新宿→小田急線・急行→町田→JR横浜線→淵野辺…約50分
〇品川から 品川→東急田園都市線・急行→長津田→JR横浜線→淵野辺…約50分
〇羽田空港から 羽田空港→京急空港線快特→京急蒲田→京急快速時急→横浜…約25分（以下参照）
〇横浜から 横浜→東急東横線→新名→JR横浜線→淵野辺…約50分
横浜→JR京浜東北線→東神奈川→JR横浜線→淵野辺…約50分

淵野辺駅から…

〇桜美林学園スクールバスで会場へ
【淵野辺駅発着所】⇔【桜美林大学発着所】
乗り場：改札を出て右側の階段を下りたところ
料金：無料
所要時間：約5分

〇タクシーで
乗り場：改札を出て右手のエスカレーターをおりたところ
料金：740円前後
所要時間：約5分【桜美林大学の生協前下車】と告げてください。

◇町田ルート

町田駅(小田急小田原線)から…

〇神奈川中央交通(通称かなちゅう)バスで会場へ

(1) 町田バスセンター3番のりば
【小山田桜台行き(表示:町32、町34)】
【町田バスセンター】⇒【桜美林学園】
乗り場：木戸周辺の改札を出て右手に直接エスカレーターを下りたところ
料金：250円
所要時間：約20分

(2) 町田バスセンター3番のりば
【川本駅北口行き(町30,町62)「川本駅行き(町60)」】
【町田バスセンター】⇒【矢部】

(3) 町田バスセンター13番のりば
【川本駅北口行き(町29)】
【町田バスセンター】⇒【桜美林学園前】
※(2) (3)は乗り場は共通ですが、下車停留所が異なるのでご注意ください。
乗り場：木戸周辺の改札を出てさらに右手に直接電源区間の階段を下りたところ
料金：250円
所要時間：約20分

◆桜美林大学から各方面へ

〇桜美林学園スクールバスでJR淵野辺駅へ
【桜美林大学発着所】⇔【淵野辺駅発着所】
上記の往復運行バスをご利用ください。

〇神奈川中央交通(通称かなちゅう)バスで小田急線町田駅へ
【桜美林学園】⇒【町田バスセンター(町田駅)]
【矢部】⇒【町田ターミナル(町田駅)】
※キャンパス案内図に記載の【桜美林学園前】、【桜美林学園】停留所からの便は本数が少ないので注意いたします。

〇タクシーで
相模交通:042-752-4559
県央個人タクシー:0120-879-510

—7—